

おいらせ

科学の楽しさ学ぶ 高校講師がショー

おいらせ町の錦ヶ丘保育園で11日、物理や車の仕組みに詳しい南豊さん（68）のサイエンスショーが行われた。年長組の園児9人が、電気自動車のタイヤがどう回っている

かなど、身の回りの科学を楽しく学んだ。

十和田市に住む南さんは自動車大手の整備工場で働いていた。高校教諭を経て現在は野辺地西高校（野辺地町）で講師をしている。子どもたちに科学への興味を持ち、物の見方を広げてもらおうと、十和田市を中心に各地でサイエンスショーを開いている。

この日はさまざまな手作りの実験器具を持参。園児たちは、掃除機がゴミを吸い込む仕組みを学んだり、電気でアームが動く器具を操作してみたりした。手回し発電で走るおもちゃの車を動かした六戸町の豊川愛依彩ちゃん（5）は「ぐるぐる回すのが楽しかった」と話した。

（渡部雅士）



南さん（右）と一緒にアームの付いた器具を動かす園児